

## 第6次総合計画

令和5年度（2023年度）から10年間の計画となる「精華町第6次総合計画」を策定しました。

総合計画は、精華町をどんなまちにしていくのか長期的な視点でまちづくりの将来ビジョンを描いたもので、まちの最上位計画です。

第6次総合計画では、10年後のまちの将来像を「人がつながり夢を叶える学研都市精華町」と掲げています。

今後、総合計画で定めた将来ビジョンの実現に向け、議会、住民、町職員が一丸となってまちづくりを進めていきます。

### 【第6次総合計画】

- はじめに 4ページ
- 基本構想 14ページ
- 基本計画 28ページ（第1章 36ページ、第2章 50ページ、第3章 62ページ、第4章 72ページ）
- 参考資料 80ページ



[6次総合計画（表紙～26ページ）](#) (PDFファイル: 16.6MB)



[6次総合計画（28ページ～59ページ）](#) (PDFファイル: 10.7MB)



[6次総合計画（62ページ～最後まで）](#) (PDFファイル: 11.7MB)

## この記事に関するお問い合わせ先

総務部 企画調整課 未来都市係  
〒619-0285 京都府相楽郡精華町大字南稻八妻小字  
北尻70番地

電話番号：0774-95-1900

ファクス：0774-95-3971

[メールフォームによるお問い合わせ](#)



PDFファイルを閲覧するには「Adobe Reader（Acrobat Reader）」が必要です。お持ちでない方は、左記の「Adobe Reader（Acrobat Reader）」ダウンロードボタンをクリックして、ソフトウェアをダウンロードし、インストールしてください。

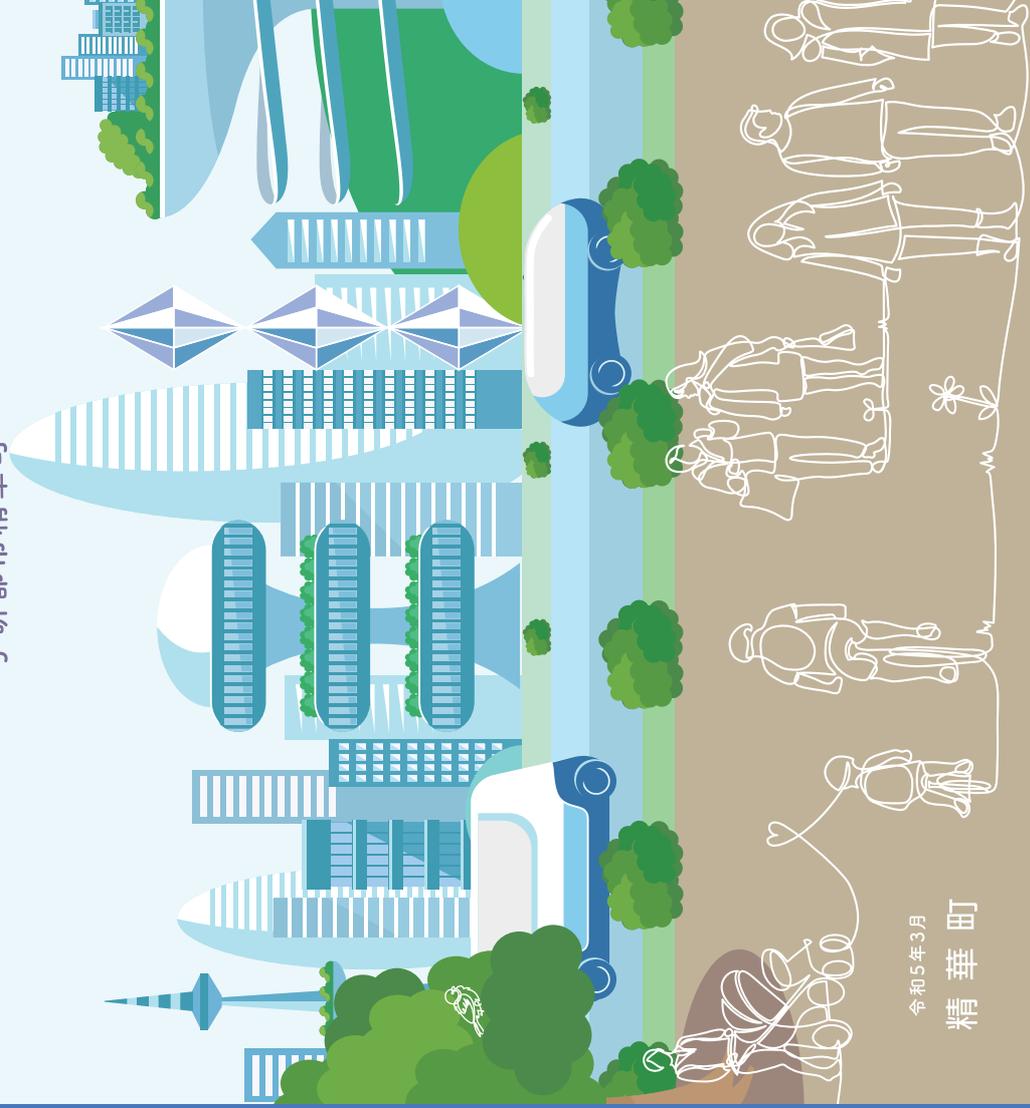


精華町

# 精華町 第6次総合計画

人がつながり夢を叶える

学研都市精華町



令和5年3月

精華町

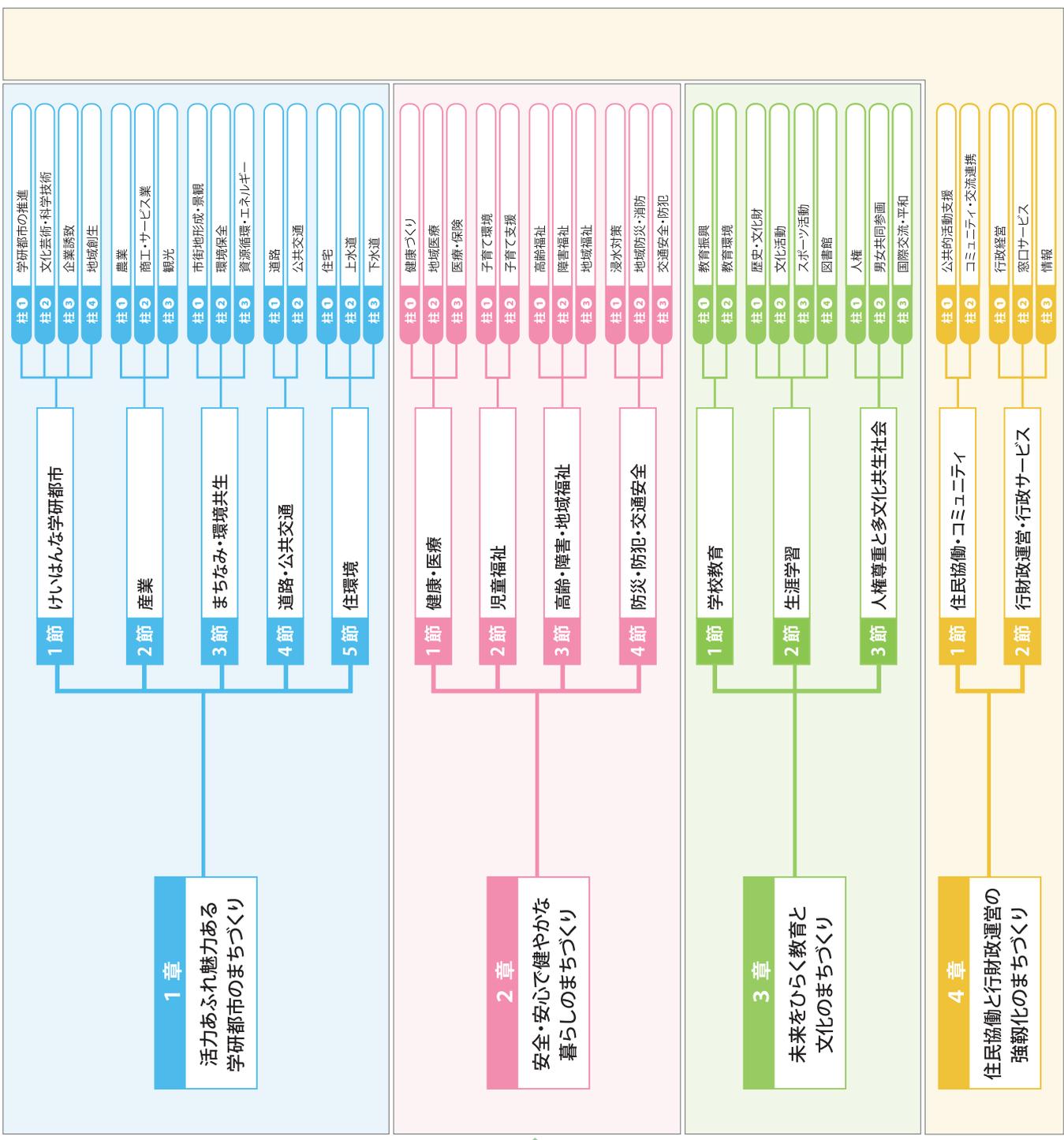
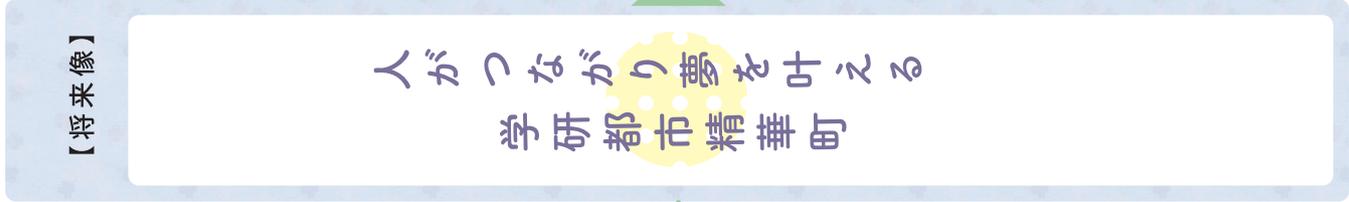
精華町第6次総合計画

人がつながり夢を叶える学研都市精華町

令和5年3月

精華町

## 2. 施策体系



### 3節 まちなみ・環境共生

**課題** 都市機能の集積と学研都市にふさわしい街並みの形成を誘導しつつ、既成市街地及びその周辺の環境を活かした景観の維持と保全を行う必要があります。また、国際的に求められる脱炭素をはじめとする持続可能な循環型社会の構築のためには、住民と行政・各種団体・企業とのパートナーシップの強化や環境に配慮したライフスタイルや事業活動の定着を図る必要があります。

#### 柱 1 市街地形成・景観

**目標** まちのゾーンでは、人・モノ・文化の活発な交流が行われる一方、閑静な住宅区域が維持されています。山のゾーン、農のゾーンでは、自然の豊かさが感じられる景観が受け継がれています。

**取り組み** 拠点となる各地域について、それぞれの位置づけを踏まえた都市機能を集積するとともに、都市軸による連携の強化を図ります。学研柏田地区の土地利用と、その動向に応じた、JR下狛駅や近鉄柏田駅周辺の整備を推進します。

新たな開発地に対しては、都市計画により良好な市街地形成を誘導する一方、既成市街地や公園・緑地、道路の植栽などについては、引き続き良好な景観の維持と保全を図ります。

#### 柱 2 環境保全

**目標** 多くの住民が自然や都市施設に愛着をもち、まちをきれいにする活動が広がり、清潔で快適な住みよいまちが形成されています。

**取り組み** 多様な主体による里地里山・河川などの豊かな自然環境や生物多様性の保全、環境学習などの諸活動を推進します。水質汚濁や騒音などの公害、不法投棄などの防止に努めるとともに、あき地や休耕地などの適正管理を促し、生活環境の保全を図ります。

斎場・墓地については、人口構造や家族形態の変化、多様化する住民ニーズなどを踏まえ、他自治体や民間施設の動向も見ながら、新たな行政課題として取り組みます。



打ち水大作戦

#### 柱 3 資源循環・エネルギー

**目標** 持続可能な循環型社会の実現を目指した環境にやさしいライフスタイルが広がっています。

**取り組み** ごみの発生抑制・再使用・再資源化の「3R運動※」を推進し、ごみを出さないライフスタイルの啓発に取り組みます。家庭や事業所、公共施設などに環境に配慮した再生可能エネルギー設備の導入を促進するなど、環境・経済・社会が好循環する持続可能な脱炭素社会の実現を目指し、地球温暖化防止対策に取り組みます。

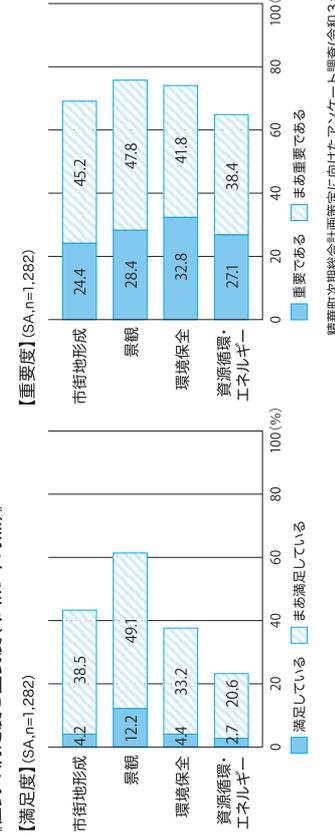
**【指標】**

指標名	現況値 (R3年度)	中間目標値 (R9年度)	期末目標値 (R14年度)
文化学術研究地区利用率(精華町域)	74.9%	78%	88%
日々の生活のなかで何らかの環境に配慮した行動をしている人の割合	—	80%	90%
ごみの総資源化率	23.5%	27.8%	32.0%

**【関連する計画等】**

関西文化学術研究都市(京都府域)における景観の形成に関する計画	平成20年9月・令和4年4月一部変更
精華町都市計画マスタープラン	平成27年3月・令和3年8月中間見直し(平成27～令和7年度)
狛田地域まちづくり基本構想	平成22年1月・概ね20年間
精華町第2次環境基本計画	令和3年3月(令和3～12年度)
精華町一般廃棄物(ごみ)処理基本計画	平成29年3月(平成29～令和8年度)

#### 《住民の満足度と重要度(令和3年時点)》



語り合おう！精華町の未来デザイン

**せいかかエネラボ**  
からの提案

- 街路樹のメンテナンス(クラウドファンディング、ふるさと納税による費用捻出)。
- 街路樹のメンテナンス(クラウドファンディング、(企業、個人)による景観保全)。
- 樹齢40歳を超えて手がかかる桜の木をみんなどを守る。
- 桜を守るまちづくり。
- ゴミ拾い、自分の手の届くところだけでもきれいにする。

※3R運動  
廃棄物の発生抑制(Reduce)、再使用(Reuse)、再資源化(Recycle)の3つの英語の頭文字の「R」をとっていう。